

1

算・数 トライアスロン

たかが分数，されど分数

30分

最初はウォーミングアップで、小学校でも学習した分数の計算についてあつかいます。「分数の計算なんて余裕だよ！」と思ったそのあなた！

たかが分数，されど分数

とタイトルにあるように、分数の計算をあまくみではいけませんよ！

「でも、どうして分数の計算だけなのですか？ 小数の計算はあつかわないのですか？」と思った人もいるでしょう。その理由は「**数学**」の計算問題には、**特徴**があるからです。

さっそく、こちらの問題を見てください。

$$\frac{2x+3}{4} + \frac{x-3}{6} \text{ を計算しなさい。}$$

高校受験コース 本科数学「文字と式」より

これは「数学」の「文字と式」で登場する計算問題で、今は解けなくても大丈夫です。しかし、この問題にあるように「数学」では

小数の計算より分数の計算がとて多くなる

のが特徴です。また、分数も

$$1\frac{1}{3}$$

のような帯分数の表記もしていましたが、「数学」では帯分数の表記ではなく仮分数で表します。

「数学」の計算問題には、もう1つ特徴があります。次の問題を見てください。

$$\left\{ -\frac{2}{3} - \left(-\frac{1}{4} \right) \right\} \times \frac{8}{5} - \frac{1}{6} \div \left(-\frac{4}{3} \right) \text{ を計算しなさい。}$$

高校受験コース 本科数学「正負の数 《乗除》」より

「計算したくない！」と思った人はいませんか？ もちろん、今は解けなくても大丈夫ですが、中学校の最初の定期テストではこれに近い問題は出てきてもおかしくありません。

ということで「数学」では

あつかう計算式が複雑で、計算が^{むずか}難しくなる

のがもう1つの特徴です。

以上から、「数学」の計算問題では

小数の計算より分数の計算がとても多くなる

あつかう計算式が複雑で、計算が難しくなる

という特徴があり、さらに中学1年生になると

正の数・負の数の計算のルール

文字と式の計算のルール

といった新しい計算のルールを学習し、そのルールを守って計算していくわけですから、分数の計算がきちんとできていないと大変なことになります。

ここまでの話で、分数の計算についてあつかう理由はわかったと思いますが、「分数の計算なんて、やり方はきちんとわかっているし大丈夫だよ。」と思っている人も多いでしょう。しかし、「わかっている」と「できる」は違^{ちが}います。「できる」は

どんなときでも速く正確にできること

です。これができてはじめて「できる」といえるのです。あなたはできるといえますか？ 「練習問題」のコーナーでは、計算問題をたくさん用意しましたので、制限時間を決めて取り組んでみましょう。もちろん、全問正解していれば「できる」といってOKです。

では、内容に入る前に、ここまでの話をまとめましょう。今回の“**小学校から中学校へのかけはし**”となるポイントです。



かけはしポイント

「数学」では、分数の計算が主流。分数の計算が
どんなときでも速く正確にできること
がとても大事！

この「かけはしポイント」を意識して、続きを読み進めて、取り組んでみましょう。